

科目名	造形表現Ⅲ						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1 単位	2 年	前期			
担当者名	原井 輝明	関連する資格	保育士資格 選択				
授業概要 造形表現Ⅰ・Ⅱで習得して来たことを基にその幅を広げ、内容をふかめていく。 身近にある物を利用して造形表現に必要な体験を蓄積し、創造する喜びを会得し、技術や知識を実践に役立てていくために、異なる表現手段との共同表現に取り組む。							
到達目標 身近なものを扱った作品制作を通して、道具・材料の使い方を知り、作品で遊びにつなげることができるようになる。				成績評価方法 レポート、演習の振り返りシートによる総合評価。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		15
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			25
演習	○	○	○	○	○	○	40
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) ガイダンス 様々な表現							
造形遊び① 新聞テント～構造を知る、棒作り							
2) 造形遊び②				グループワーク			
新聞テント～ユニットを作る							
3) 造形遊び③				グループワーク			
新聞テント～ホロを張る							
4) 造形遊びの可能性①				グループワーク 小レポート			
絵筆の特徴（水とともだち、細い線・太い線、にじみ・かすれ）							
5) 造形遊びの可能性②				グループワーク 小レポート			
トイレットペーパーを使って							
6) 造形遊びの可能性③				グループワーク 小レポート			
色・いろいろ							

7) 造形遊びの可能性④	グループワーク
ストーリーを考える	小レポート
8) 様々な表現を使って①	グループワーク
材料を考える	
9) 保育現場における造形表現活動を観察する	個人ワーク
レポート発表、討議	小レポート
10) 様々な表現を使って②	グループワーク
製作	
11) 様々な表現を使って③	グループワーク
製作、発表	小レポート
12) 造形表現活動をねらいとした模擬保育①	グループワーク
グループ学習、討議	
13) 造形表現活動をねらいとした模擬保育②	グループワーク
グループ学習、討議	
14) 造形表現活動をねらいとした模擬保育③	グループワーク
グループ学習、討議	
15) 実践に向けて	レポート
振り返り	
授業外学習	
テキスト、参考書、教材	
「新造形表現<実技編>」花篤實他著（三晃書房） その他：配布プリント	総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ 総合演習Ⅳ
備考	
汚れても構わない服装で授業に臨むこと。	